

【取組内容①】 評価基準の児童との共有、振り返りの蓄積による授業実践

・個別最適な学びを充実させていくために、本時における評価基準を授業の導入で児童と共有する（図1）。学習のめあてだけでは不足している具体的な身に付けさせたい力を「達成度」として提示することで、児童が本時におけるゴールを明確に描くことができる。また、これに対する個人のめあてを立てさせている。

・授業のふりかえりでは、評価基準をもとにGoogle Formsに入力させる。達成度の他に、わかったこと、がんばったこと、友だちのがんばりようかい、もっと知りたいことから1つを選ばせ、自由記述をさせている。（図2）集約結果から、新たな学習問題やめあての設定にも利用できる。（図3）

評価（達成度）	A：7～10	B：4～6
評価（達成度）のきじゆん	とじこめた空気に力を加えると体積や手ごたえがどうなるか、「体積」と「手ごたえ」という言葉を使ってまとめることができる。	○とじこめた空気に力を加えると体積や手ごたえがどうなるか、実験をして、たしかめることができる。

図1 4年生理科「とじこめた空気と水」評価基準  
令和5年7月実施

図2 ふりかえり用フォーム

今日の(自分の)めあて/学習問題は何でしたか？	めあての達成度	自分のがんばり度	今日のふりかえり
くうきを閉じ込めとじこめて、スポンジをいれるとどうなるだろう。	8	9	くうきをとじこめると、スポンジを入れるで、ちぢむのをわかりました。
閉じ込めた空気に力を加えると、体積や手ごたえはどうなるだろう。	10	10	実験をして、記録を頑張りました。
先生のお話を聞いて実験を間違えないようにしましょう	9	10	押していくと体積が硬くなっていってものがしぼんでいくということが初めて知りました
先生の話を、しっかり聞く	9	10	もっと、知りたい事は、力いっぱい押したら0まで、なるのかです。
手ごたえなどを感じ取るう	9	9	スポンジをなかにいれてピストンをうごかしたらちぢんだので他にも色々な実験があると思うので、色々実験がしたいです。また、閉じ込めた空気をおすときなかなか力が必要だったことがびっくりしました。また、ちゅうしゃきのようなものに今日は、くうきをとじこめたけど色々なものを閉じ込めてみたいです。例えば、水、などを

図3 集計データ（一部抜粋）

児童のメタ認知能力を向上させ、自らの学びを調整できるようにしていきたいと考え、他教科でも実践をしている。音楽科のリーダーの学習では、同様に評価基準を示すことで、児童の練習意欲が向上するとともに、自分のめあてに向かって、学習を進める様子が見えた。児童のふりかえりに対して、適切なフィードバックを行い、より個別最適な学びが充実したものになるように取組を進めたい。